

令和5年10月 安全衛生メッセージ



食欲の秋 体調管理に気をつけて



知ってる？感染の基礎知識 ~クイズの答え~

問1.感染対策の3要因はなに？

感染対策の基礎知識 | 1

感染対策の原則

感染成立の3要因への対策と、病原体を
1 | 持ち込まない 2 | 持ち出さない 3 | 拡げないが基本です。

感染成立の3要因と感染対策

感染性は ①病原体(感染源) ②感染経路 ③宿主 の3つの要因が揃うことで感染します。感染対策においては、これらの要因のうちひとつでも取り除くことが重要です。特に、「感染経路の遮断」は感染拡大防止のためにも重要な対策となります。



高齢者施設における感染制御の基本

- 1 | 病原体を持ち込まない
- 2 | 病原体を持ち出さない
- 3 | 病原体を拡げない

感染経路の遮断においては、以下の点に留意しましょう。

- 施設内に入る時やケア前後の手指消毒、流水による手洗い
- 咳やくしゃみをしている場合等のマスク着用
- 血液、体液、分泌物、嘔吐物、排泄物等を扱うときは手袋を着用するとともに、これらが飛び散る可能性がある場合に備えて、マスクやエプロン・ガウンを着用
- 居室・環境整備

問2.標準予防策(スタンダードプリコーション)はなに？

感染対策の基礎知識 | 2

標準予防策 (standard precautions)

感染対策の基本として、すべての血液、体液、分泌物(喀痰等)、嘔吐物、排泄物、創傷皮膚、粘膜等は感染源となり、感染する危険性があるものとして取り扱うという考え方です。

感染源

感染症の原因となる微生物(細菌、ウイルス等)を含んでいるものを感染源といい、次のものは感染源となる可能性があります。

- 嘔吐物、排泄物(便・尿等)、創傷皮膚、粘膜等
- 血液、体液、分泌物(喀痰・膿等)
- 使用した器具・器材(注射針、ガーゼ等)
- 上記に触れた手指等

標準予防策 (standard precautions)

血液、体液、排泄物等に
触れるとき
手袋の着用*

感染性廃棄物を
取り扱うとき
手袋の着用*

血液、体液、排泄物等が
飛び散る可能性があるとき
手袋・マスク・エプロン・
ゴーグルの着用*

針刺しの防止
リキャップの禁止
針捨てボックスに
直接廃棄する

*手袋等を外した時は必ず手指消毒を行うこと